

SDGs新聞

大阪・関西万博
(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会)

マイボトルがもっと「当たり前」になるように

SDGsラジオを読んでみよう！

ペットボトルのジュースやお茶を飲んだ後、空いたボトルはどうしていますか？

自動販売機の横にある「回収ボックス」に入れたり、「資源ごみ」として出したりしていますよね。

それも地球にやさしい行動のひとつです。

でも、そもそも「ペットボトルを使わないこと」自体が、地球にやさしい行動だとは思いませんか？

今、海外では空港にマイボトル用の給水機を設置したり、カフェでマイボトルを使うなど、マイボトルが使える環境が整っています。

大阪・関西万博でも、地球温暖化を防ぐためのプロジェクト「EXPOグリーンチャレンジアプリ」で、

マイボトルの使用を押し進めています。

例えば会場内の給水機からマイボトルに給水すれば、景品の抽選に応募できるポイントがもらえたりするんですよ。

マイボトルが当たり前になるように、みなさんもマイボトルを使って、世の中を変えていきましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：ペットボトルごみのイメージ

コンビニや自動販売機などで売っているジュースやお茶などが入っているペットボトルは、飲み終わると、「回収ボックス」などを通じてリサイクルされます。しかし、街中でポイ捨てされたペットボトルは、風や雨により排水溝や河川へ流れ海岸に漂着したり、そのまま海へ流出し「海洋プラスチックごみ」となり、海の生物がエサと間違えて食べてしまうなど、環境に悪い影響を与えています。また、ペットボトルをつくる過程で温室効果ガスが排出され、地球温暖化を加速させる原因のひとつになっています。そのようなことから今、社会では、プラスチックの使用を減らすためのさまざまな取り組みが行われています。



画像参照：マイボトルのイメージ

すでに海外では空港にマイボトル用の給水機を設置したり、カフェでマイボトルに飲み物を入れて販売するなど、ペットボトルの使用を抑えるための環境が整いつつあります。日本もこの世界の動きに追いつくため、例えば、「大阪・関西万博」では地球温暖化を防ぐための取り組みのひとつとして「EXPOグリーンチャレンジアプリ」があり、その中でマイボトルの使用を押し進めています。マイボトルへ給水したり、カフェで買った飲み物をマイボトルに入れてもらうことで、景品の抽選に応募できるポイントを獲得できます。もちろん大阪・関西万博の会場でも、マイボトルが使用できますし、アプリを通じて楽しみながら環境に貢献できる機会をつくり、「地球にやさしいアクション」がたくさんの人に広がっていくことを目指しています。

キーワード

海洋プラスチックごみ

ポイ捨てや放置されたプラスチックごみが、河川などを通じて海へ流出し、海洋プラスチックごみとして、海岸や海底にたまったり、水中を浮遊したりします。なかでも、5mm以下の細かいプラスチックは「マイクロプラスチック」と呼ばれています。海洋ごみの約2/3がプラスチックごみで、2050年には海洋プラスチックごみの量が、魚の数を上回るともいわれています。

温室効果ガス

二酸化炭素やメタンなど、地球の大気中にたまり、太陽からの熱を逃がさないようにする気体のことです。これにより地球の気温が上がり、温暖化が進む原因となります。

大阪・関西万博

2025年開催の国際的なイベント。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来の生活や医療、自然との関わり方などを体験できます。

対象ゴール



みなさんにできること！

ペットボトルの使用をなるべく控え、マイボトルを使用していきましょう。

- ペットボトルなどによる海洋プラスチックごみが、世界的な環境問題になっている。
- マイボトルを使うことで、海洋プラスチックごみの削減に貢献できる。
- 大阪・関西万博では、「マイボトルの使用を押し進めるための取り組み」を行っている。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....



SDGs ラジオ